

2015年12月17日

Euro Echo 2015 における European Association of Cardiovascular Imaging Heart Imagers of Tomorrow Meeting の参加報告書

EACVI Heart Imagers of Tomorrow (HIT)は、今月に EACVI Club35 から改称され、その名の通りヨーロッパ諸国の心エコー医(会員の 99%)を中心とした若手循環器医のネットワークであり、Senior doctor (EACVI Faculty) および学会事務局の助けをかりて、運営、企画、資金繰りを自ら行っている組織であります。今回の名称変更に伴い、日本、カナダ、UAE、アルメニア、ジョージア(旧グルジア)が加わり、総勢 60 か国が参加する世界最大規模の若手循環器のネットワークです¹。

この HIT の入会条件は、①38 歳以下、②トレーニング中の者、③医師に限らず、コメディカル等医療に携わる全職種であり、この会は①全ての Trainees のための魅力的な活動、②心血管画像診断のスペシャリストの育成、③次世代を見据えたマルチモダリティの画像診断の推奨を主目的としています。今回の EuroEcho2105 のプログラムでも、この HIT 主催や HIT 推薦のプログラム、企画が至るところで散見され、EACVI における一つの大きな目玉の組織になっていることは明らかな印象でした。

私を含む各国の大使は、①ネットワークを促進し各国の若手循環器医の Society と HIT との連携を図る。②各国の若手循環器医に積極的に EACVI Congresses や Teaching Courses への参加を促す。③各国の Non-invasive Cardiovascular Imaging のフェローシップや、教育セミナーの情報を共有、拡散していく。④EACVI のグラントを申請できる若手を探し応募を促す。などの任務を担っており、①HIT Ambassador Web page¹、②LinkedIn、③Google group EACVI Club 35 Ambassadors、④Face Book の各 IT ツールを駆使してリアルタイムで情報共有・拡散を行っています。

以上を踏まえて 2015 年 12 月 4 日 4:00 - 5:30 PM にスペイン、セビリア市 Sevilla Palacio de Congress の President Room にて名称変更後初めての Ambassador 会議が行われ、**A**教育、**B**国際共同研究、**C**Certification を中心に再確認、協議が行われました。以下内容をご報告致します。

Ⓐ教育

まず EACVI young Dr.を対象としたアンケート結果を閲覧(回答人数不明)。

Structure Heart Disease (SHD)の時代になり、回答者の 64%が SHD Imaging が新たな

Cardiology の Sub-specialty になると考えており、SHD Imaging の重要性が世界的に増していることは、疑う余地もない事実である。しかし、この SHD の Transoesophageal echocardiography (TOE) に関しては回答者の 13% しか TAVI and/or Mitra-Clip の Imaging に自信がなく、66% がさらなる専門のトレーニングが必要と考えているという、教育不足が指摘される結果であった。

また、各所属施設で行われる SHD の手技はアンケート回答施設中 TAVI 56%、M-clip 4%、LAA occlusion 6%、PFO closure 22%、Other Congenital Heart Disease (CHD) interventions 11%、None 1% という結果であり、半数以上の施設で SHD が行われているという結果であった。

以上の結果を踏まえて今後の教育のツールとして、下記が紹介された。

- ・ [EACVI clinical case gallery](#) : 症例動画を 123sonography.com² のように、定期的に配信を行っていく。

- ・ [Multimodality Imaging の EACVI 教育コースの継続](#) : 本年度は 2 つの参加型コースを実施、来期は Web でのコースも用意。来年度の企業のスポンサーは既に契約済である。

- ・ [EACVI Researchers Toolkit](#) : 若手の研究用のコンテンツを Web にて掲載を行い、Clinical のみでなく、若手の Research も促進していく。

③国際共同研究

各国の Ambassador に事前に配布され、Revise を受けている HIT のプロジェクトとしての初の国際的な臨床試験「*Prognostic indices of Right heart dysfunction in patients undergoing CABG (RH-CABG study)*」³ についての議論。プロトコル、CRF はすでに準備できており、本学会で承認されたことが発表された。

また、来年 2 月からのエントリー開始が伝えられたが、各施設の IRB がそんなに早く認証されるとは考えにくいとの意見が各国の Ambassador から続出した。私も MGH Echo Core Lab に勤務していた際に行った国際的な大規模臨床試験「ISCHEMIA Trial」⁴ での経験⁵ から同意見であり、登録期間の延長も検討すべきであることを伝えた。

©Certification

現在 EACVI の若手会員は 70% が試験のみに参加し、EuroEcho の Congress には出席していない現状である。したがって Congress の Registration fee を減らして、Congress の開催日にセットで試験を行うという意見が出た。その際の試験期間は半日が望ましいという見解に至った。さらに、この改革により EACVI は一人受験者あたり当たり€200 の増額が望めるとの試算に至った。また、多くの Ambassador から試験料自体は€30 程度に抑えるべきだという意見が続出した。

また前述の如く、SHD の時代になり、将来的には段階的な資格取得が望ましい

(Transthoracic echocardiography (TTE) ⇒ TOE ⇒ CHD ⇒ Multimodality) との発表があり、今後 CT・CMR の学会 (CT、MRI) との調整が必要であるとの見解に至った。

*略語現時点での試験内容

- TTE: 記述、選択、250 症例の提出
- TOE: 記述、選択、150 症例の提出
- CHD: 記述、選択、250 症例の提出

その後、各国の Ambassador から各国の状況説明が行われた。

我国においては、この Meeting の同時刻にジョイントセッションも開催されており、また EuroEcho の YIA winner を毎年 JSE の年次集会に招待しているなど EACIV と非常に強い連携が既に存在している。しかし、若手循環器医のネットワークという意味合いでは、個々に頼っているのみであり、組織的な連携がないので、今回の HIT への参加を契機に若手同士の連携を強化していきたいことを伝えた。

The EACVI Heart Imagers of Tomorrow ambassador in Japan

帝京大学 内科学講座 循環器

片岡 明久

参考資料

1. <http://www.escardio.org/The-ESC/Communities/ESC-Young-Community/EACVI-club-35/EACVI-Club-35-Ambassadors> (近日中に再 Up date 予定)
2. <https://123sonography.com/> (ウィーン大学の超音波技師用の Web 教育ツール)
3. 添付資料 "EACVI project.doc"
4. <https://www.ischemiatrial.org/>
5. Kataoka A, Scherrer-Crosbie M, et al. MH. The Value of Core Lab Stress Echocardiography Interpretations: Observations from the ISCHEMIA Trial. Cardiovascular Ultrasound. 2016 in press.
6. Meeting の後で、本会議に出席した各国の Ambassador 達の集合写真 (下図)



7. カクテルパーティーにて President の Prof. Gilbert Habib と Scientific Chairman の Prof. Bernard Cosyns と共に Ambassador 達の集合写真 (下図)

